



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.5
R2.8.19

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

厳しい残暑が続いています。適切にエアコンを活用し、食事や水分をしっかり摂って、熱中症を予防しましょう！

今年度の包括ケア会議は個別事例検討会として開催しています。今回は、居宅ケアマネジャー、ヘルパー、福祉用具事業所職員の皆さんにご参加いただきました。

支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「利用者からの過度な要求に支援者が苦慮しているケース」です。

本人からケアマネジャーに昼夜を問わず「すぐに来い」と連絡が入ります。ヘルパーには大量の嗜好品の買物などを細かく指示があります。いずれも対応できないと本人は激昂し支援者を罵倒します。

本人は威圧的な態度で過度な要求を繰り返しており、支援者はこれまで何人も交代を余儀なくされています。

出席者からは、「介護保険の範疇ででき

る事とできない事をしっかり線引きして説明し、違反した場合はサービス終了とする旨を約束してはどうか」等、毅然と対応すべきとの意見が出ました。

利用者と支援者の関係は、人と人との信頼関係の下に成り立つものであり、支援者の人権も守られなければなりません。介護保険の決まりについて本人に説明する際には、保険者である笠間市職員にも立ち会ってもらうなど、ケアマネジャーやヘルパーらを支援する方針となりました。

7月の検討事例の経過報告

ケース1「保険者は市外、居所は市内で、ケアマネジャーが支援に困っているケース」

ご本人の経済的な問題解決のため、ケアマネジャーと社会福祉協議会職員が一緒に支援を開始しました。

ケース2「高齢の親が、引きこもっている子の対応に困っているケース」

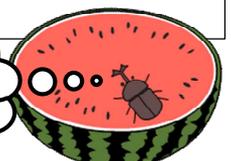
親の介護・子の就労それぞれの支援のため、地域包括支援センターと社会福祉協議会の職員が定期的に訪問を継続しています。



困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

下記までご連絡よろしくお願ひいたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871